

シノリガモ（カモ科） 全長43センチ

1月19日、前日まで続いた吹雪が穏やかに晴れ渡った。急に海が見たくなり日本海岸の金浦方面に向った。

漁港や砂浜を眺めながら移動していると、沖合に7羽のカモ類が浮かんでいる。シノリガモだ。オスは顔の前面から側面にかけての白い線状の模様が特徴的で、他のカモ類と区別が容易です。



白い模様が目立ちます。

浜辺に風はないが、白い波が打ち寄せている。波間に浮かんで消え、頻りに潜水を繰り返しているのが餌を漁っているのでしょう。一旦潜ってしまうと何処に浮かんでくるのか予測が出来ず、レンズを向け焦点を合わせるのが難しいが、なんとか浮き上がった瞬間を撮影することができました。

打ち寄せる波は1メートルほどの高さもあり、シノリガモは大きく上下を繰り返している。見ている方が酔ってくるようだ。

やがて食事が終わったのか、岩場上がりゆったりとした時間を過ごしている。



左上がメス。



羽ばたいてくれました。

主に海辺に生息する鳥で、内陸では殆ど観察されませんが、繁殖期には内陸部の奥深い溪谷で子育てする習性があります。



岩に上がり休憩中のオス。



左のメスは地味。